

首都圏の医学生  
県内病院が勧誘  
東京でガイドス  
首都圏の医学生らを  
県内の病院などに勧誘  
するガイドスは二千

五日、東京・平河町の  
都市センターホテルで  
開かれた。

県内の十六病院でつ  
くる県臨床研修病院ネ  
ットワークの主催で、  
医学生と研修医計三十  
五人が参加した。



県内の臨床研修環境な  
どをアピールしたガイ  
ダンス

県内の医療現場の現  
状を説明した後、東日  
本大震災と東京電力福  
島第一原発事故による  
影響について関係者が  
報告した。福島医大医  
学部六年の垣野内景さ  
んが学生災害ボランティアの取り組み、県放  
射線健康リスク管理ア  
ドバイザーの山下俊一  
さんが原発事故に立ち  
向かう医療人の思いな  
どを語った。

福島医大の研究成果  
に関する講演会を催し  
たほか、臨床研修病院  
のPRや相談コーナー  
なども設け、参加者に  
充実した研修環境を紹  
介した。

本県での臨床研修  
首都圏で呼び掛け

福医大などがガイドス

福島医大と臨床研修指定  
16病院でつくる県臨床研修  
病院ネットワークは25日、  
東京・平河町で首都圏の医  
学生や初期研修医を対象に  
したガイドスを開き、本  
県での臨床研修を呼び掛け  
た。首都圏開催は初めて。

首都圏の医学生・研修医  
35人のほか、福島医大同窓  
生ら約70人が参加。ネット  
ワーク側が本県での臨床研  
修の利点などを説明。講演  
も行われた。竹之下誠一福  
島医大副理事長は「福島医  
大の世界戦略」を語った。

会場では11病院が個別に  
学生の相談に応じ、県は修  
学資金について説明した。

県内の臨床研修病院の研  
修医は定員150人に対し  
69人(4月1日現在)にとど  
まり、原発事故で辞退した  
学生も数人いるという。